



桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

7月号

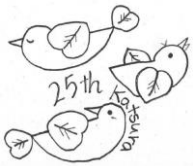
令和3年6月30日

横浜市立桂小学校

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: y3katura@edu.city.yokohama.jp 桂小学校HPのQRコードはこちら→



国際平和への一歩

校長 寺澤 みゆき

6月24日(木)、鴨志田緑小学校において「青葉区よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が行われました。この取組は「国際平和のために、自分がやりたいこと」というテーマのもとに、「日本の平和や国際平和のために、自分の考えや自分がやりたいことを言葉で表現することによって、日本の平和や国際平和に対する意識を高め、平和のために自ら実践しようとする態度を育成する」といった目的で行われています。

本校でも、6年生がスピーチの視点である「持続可能な開発目標」(SDGs)に基づく17の視点について学習し、全員がテーマに基づく作文を書きました。その中から、学校代表として6年2組大木健司さんが区スピーチコンテストに参加し、しっかりとした口調で自分の考えを発表しました。

SDGsとは皆様もよく耳にされている言葉だと思いますが、国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。国連加盟国の目標が、スピーチの視点とは…とお思いになる方もいらっしゃるでしょう。実は、学校教育の法的根拠となっている学習指導要領には「持続可能な社会の構築」の観点が含まれているのです。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組み、行動できる人の育成が求められているのです。

大木さんのスピーチ「貧困をなくす手助け」は、このような文でしめくくられています。

「ぼくは、わかった。小さな力も、集めれば集めるほど大きくなるということ。そして、貧困をもとからなくすことはできないけれど、少しずつ減らせる力がぼくたちにはあるということ。ぼくは、桂小学校で声をあげていきます。みなさんも、ぼくたちと一緒に『物の寄付』から始めてみませんか。」

自分が世界とつながっていると実感し、自分の行動が国際平和への一歩であると自覚できる学習に、今後も取り組んでいきたいと思っています。

地域の皆様、保護者の皆様、今後とも本校の教育活動へのご理解ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

【平和教育の取組】

桂小学校では、5月25日から6月4日まで平和教育を行いました。1945年5月29日の横浜大空襲を中心として各学年で平和について考え、理解を深めました。学習教材は以下の通りです。

1年:「はらっぱ」

2年:「まちんと」

3年:「だっこの木」

4年:「えんぴつびな」

5年:「いわたくんちのおばあちゃん」

6年:「平和のとりでを築く」